



▲会場が一つになった全体合唱

第6回震災復興音楽祭「希望・音楽に復興を誓う」

3月11日、コミネスで『第6回震災復興音楽祭「希望・」』が開催されました。前半の市民ステージでは歌や踊りなどが披露され、後半のゲストステージではフルート奏者の山形由美さんが出演し、華麗な音色を奏でました。最後に、山形さんの演奏に合わせて来場者全員で市民歌「このまちがすき」とNHK復興支援ソング「花は咲く」を合唱し、復興への誓いを新たにしました。

また市立図書館駐車場では、2千本のろうそくを灯す追悼復興祈念キヤンドルナイトが行われました。



▲報告会の様子

徳島大学と白河市との災害復興に向けた連携・協力に関する活動報告会

平成24年5月に締結された「徳島大学と白河市との災害復興に向けた連携・協力に関する協定」に基づく、これまでの活動とその成果を発表する報告会が、2月17日、マイタウン白河（本町）で開かれました。

同大からは野地澄晴学長をはじめ、COT理論の考案者である荒木秀夫教授などが、本市からは放射線対策や市民の健康管理、震災後の心のケア・教育事業に携わる各担当者が発表しました。また、学長と鈴木市長を中心に、今後の連携のあり方について意見交換を行いました。



▲締結式での岡理事長兼学長と鈴木市長

地域の産業振興のため 会津大学と協定

3月15日、市は会津大学と「産業振興に関する基本協定」を締結しました。これを機に、市は同大の持つICT（情報通信技術）を活用し、地域企業の底上げ、高校生との交流を通じた産業人材の育成、地元企業への就職を視野に入れた人材の確保や、創業の推進に取り組みます。

締結式で鈴木市長は「世界で評価されている会津大学の技術を産業振興にいかしたい」、岡隆一理事長兼学長は「白河市と連携し、小さなことから成功体験を積み重ねていきたい」と挨拶しました。



▲表彰式に出席した受賞者

体育・文化成績優秀者表彰式 児童・生徒の活躍をたたえる

2月22日、コミネス（会津町）で『平成29年度体育・文化成績優秀者表彰式』が行われました。小中学校の体育や文化活動において、優秀な成績をおさめた個人・団体の代表と五箇小（学校賞）に、星教育長から賞状とメダルなどが贈られました。

受賞者を代表し、都道府県対抗中学バレーボール大会に出場した佐藤瞭介さん（中央中3年）が「たくさんの方々の支えがあって受賞できたことに感謝し、これからも精一杯がんばっていききたい」とお礼の言葉を述べました。



▲上演後、出演した子どもたちに惜しみない拍手が送られました

スペースオペラKEGON 市民ダンサーがプロと共演

3月18日、コミネスで『スペースオペラKEGON』が上演されました。これは、華厳経の「光明遍照（無限の光が世界の隅々まで照らし出す様子）」の世界観をもとに、光のアートと現代音楽、ダンスが融合したコミネスオリジナル作品で、オーディションで選ばれた地元の小学生や市民が、プロのダンサーやオーケストラ、アーティストと共に神秘的な舞台を作り上げました。

また、森山開次さんによるラストの迫力あるソロダンスは、訪れた多くの観客を魅了しました。



▲同会の皆さんと交付された防災資機材

宝くじ助成事業を活用し 防災資機材を整備

2月26日、市は自主防災組織育成の一環として（一財）自治総合センターのコミュニティ（宝くじ）助成事業を活用し、本沼自治会自主防災会に、テントや携帯用無線機などの防災資機材を交付しました。

平成26年の結成以来、地域の防災活動に取り組む同会の荒井秋則会長は「防災・防火活動に一層の力を注ぐとともに、地域における防災意識高揚を図り、災害・火災予防に万全を期したい」と話しました。

この助成による自主防災組織への資機材交付は、今回で18団体目です。